

学部・方式・試験日間の併願

2月実施 本学独自試験方式の併願について

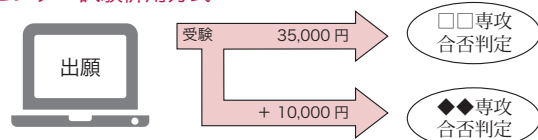
- ①試験日が異なれば、各入試方式は下記のように併願が可能です。
 - a. 同一の学部・学科・学域・専攻等と同じ方式や異なる方式で複数回受験できます。
 - b. 異なる学部・学科・学域・専攻等と同じ方式や異なる方式で複数回受験できます。
- ②複数試験日に出席した場合（受験番号が複数ある場合）、受験番号ごとに合否判定を行います。
- ③同一試験日に、複数の学部・方式や立命館アジア太平洋大学を受験することはできません。万一、複数出席した場合は、実際に受験した学部・方式のみ合否判定を行います。
- ④産業社会学部・経営学部のセンター試験併用方式では、1日の受験で、同一学部内で2学科・専攻まで併願することが可能です(下記④参照)。
- ⑤理工学部・生命科学部の全学統一方式（理系）および理工学部の学部個別配点方式では、1日の受験で、同一学部内(理工学部は学系内)で2学科まで併願することが可能です(下記⑤参照)。

④センター試験併用方式「2学科・専攻併願制」(産業社会学部・経営学部)

産業社会学部・経営学部のセンター試験併用方式(2月8日・2月9日)では、同一学部内で2学科・専攻まで併願が可能です(入学検定料 10,000円が別途必要)。学部をまたがる併願はできません。

*産業社会学部・経営学部ともに、1学科・専攻のみの出願も可能です。

2月〇日
センター試験併用方式



【産業社会学部】

専攻	併願
現代社会専攻	← 2専攻まで併願可能
メディア社会専攻	
スポーツ社会専攻	
子ども社会専攻	
人間福祉専攻	

【経営学部】

学科	併願
国際経営学科	← 併願可能
経営学科	

⑤全学統一方式（理系）・学部個別配点方式「2学科併願制」(理工学部・生命科学部)

理工学部・生命科学部の全学統一方式（理系）(2月2日・2月3日)、および理工学部の学部個別配点方式（2月7日）では、同一学部内(理工学部は学系内。ただし数学物理系[数理科学科、物理科学科]は併願できません。)で2学科まで併願が可能です(入学検定料 10,000円が別途必要)。学部をまたがる併願、および理工学部の学系をまたがる併願はできません。また、理科1科目型、理科2科目型の併願はできません。

*理工学部・生命科学部ともに、1学科のみの出願も可能です。

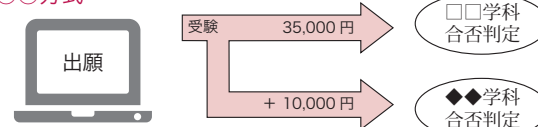
【理工学部】(全学統一方式(理系)および学部個別配点方式)

学系	学科	併願
電子システム系	電気電子工学科	← 併願可能
	電子情報工学科	
機械システム系	機械工学科	← 併願可能
	ロボティクス学科	
都市システム系	環境都市工学科	← 併願可能
	建築都市デザイン学科	

【生命科学部】(全学統一方式(理系))

学科	併願
応用化学科	← 2学科まで併願可能
生物工学科	
生命情報学科	
生命医科学科	
生命医科学科	

2月〇日
〇〇方式



3月実施 本学独自試験方式の併願について

- ⑥試験日が異なれば、学部・学科、入試方式を問わず、併願に制限はありません(下記⑥参照)。
- ⑦文学部・理工学部・生命科学部の後期分割方式では、1日の受験で2つの学科・学域を併願することができます(下記⑦参照)。
- ⑧各学部の後期分割方式と「経営学部で学ぶ感性+センター試験」方式は、併願することが可能です(下記⑧参照)。

⑥異なる試験日の入試の併願

【例：情報理工学部情報理工学科情報システムグローバルコースと経営学部国際経営学科に出席する場合】

	3月6日	3月7日
情報理工学部情報理工学科 情報システムグローバルコース	グローバル	
経営学部 国際経営学科		後期分割

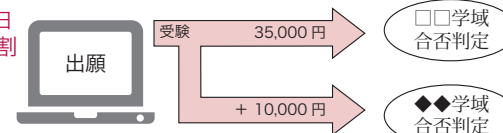
⑦後期分割方式の併願

文学部「2学域併願制」(3月7日)

文学部の後期分割方式では、学部内で2学域まで併願が可能です(入学検定料 10,000円が別途必要)。学部をまたがる併願はできません。

*1学域のみの出願も可能です。

3月7日
後期分割
方式



【文学部】

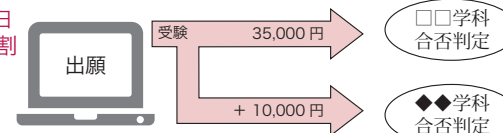
学域	併願
人間研究学域	← 2学域まで併願可能
日本文学研究学域	
日本史研究学域	
東アジア研究学域	
国際文化学域	
地域研究学域	
コミュニケーション学域	

理工学部、生命科学部「2学科併願制」(3月7日)

理工学部・生命科学部の後期分割方式では、同一学部内(理工学部は学系内)で2学科まで併願が可能です(入学検定料 10,000円が別途必要)。学部をまたがる併願、および理工学部の学系をまたがる併願はできません。また、理工学部の数学物理系(数理科学科、物理科学科)、都市システム系(環境都市工学科、建築都市デザイン学科)は併願できません。

*理工学部・生命科学部ともに、1学科のみの出願も可能です。

3月7日
後期分割
方式



【理工学部】

学系	学科	併願
電子システム系	電気電子工学科	← 併願可能
	電子情報工学科	
機械システム系	機械工学科	← 併願可能
	ロボティクス学科	

【生命科学部】

学科	併願
応用化学科	← 2学科まで併願可能
生物工学科	
生命情報学科	
生命医科学科	

⑧後期分割方式(全学部)と「経営学部で学ぶ感性+センター試験」方式の併願

後期分割方式の試験終了後に、「経営学部で学ぶ感性+センター試験」方式を受験することが可能です。立命館アジア太平洋大学の後期分割方式と「経営学部で学ぶ感性+センター試験」方式を併願することも可能です。ただし、いずれも入学検定料 35,000円が別途必要です。

試験日	後期分割方式		「経営学部で学ぶ感性+センター試験」方式
	1時限	2時限	3時限
3月7日(水)	10:20~11:40	〈文系学部〉13:10~14:30 〈理系学部〉13:10~14:50	16:00~18:00

センター試験方式の併願について

「学部・学科・学域・専攻」と「科目・教科型」の組み合わせが異なれば、センター試験方式の併願に制限はありません。なお、センター試験方式と、2月・3月に実施する入試(本学独自試験)の併願においても制限はありません。

大学入試センター試験科目の成績利用方法（過年度の成績は利用できません）

「平成30年度大学入試センター試験」(以下、センター試験)で受験した科目の成績を、センター試験方式、センター試験併用方式、後期分割方式<センター試験併用3教科型>、「センター試験+面接」グローバルコース方式、「経営学部で学ぶ感性+センター試験」方式で合否判定に使用します。本学の入学試験で使用できない科目や、必要以上の科目数を受験しても構いませんが、出願する学部・学科等の入試方式において定められたセンター試験の科目を、必要数受験してください。科目が不足する場合は、不合格となります。また、使用する科目を出願時に届け出る必要はありません。「高得点科目採用」は、学部・学科等の入試方式において定められたセンター試験科目を受験していれば、高得点の科目から自動的に採用されます。

志望する学部・学科等の入試方式で定められた科目の配点と、センター試験での配点が異なる場合は、得点換算を実施します。

なお、理工学部、情報理工学部、生命科学部、薬学部のセンター試験方式、情報理工学部のセンター試験併用方式(情報理工学部型)において、高等学校等での履修に関する出願条件がありますので、43ページで確認してください。

■ 外国語

センター試験の「英語」は、筆記試験(200点)とリスニング(50点)が出題されます。本学の入学試験では、下記(1)(2)のうち高得点となる方を自動的に採用します(事前の申請は不要です)。ただし、「センター試験+面接」グローバルコース方式はリスニングの受験が必須で(1)を採用します。

(1) 筆記とリスニングをあわせた250点満点を200点満点に換算。

(2) 筆記のみ200点満点(リスニングを受験しなかった場合を含む)。

また、「ドイツ語」「フランス語」「中国語」も情報理工学部と薬学部を除くすべての学部で使用できます。「韓国語」は国際関係学部、文学部、映像学部、政策科学部、総合心理学部、食マネジメント学部で使用できます。

■ 国語

センター試験の「国語」は、近代以降の文章(2問100点)、古典[古文(1問50点)、漢文(1問50点)]で構成されています。本学の入学試験で使用する範囲は、以下の3通りがあります。使用範囲や使用方法は、各学部・学科等の入試方式ごとに定められていますので、10~39ページで確認してください。

(1) 近代以降の文章のみ

(2) 古文、漢文のみ

(3) 近代以降の文章、古文、漢文

■ 数学

センター試験の「数学」は、数学①と数学②の2つの試験時間帯に分けて実施されます。本学の入学試験では、数学①は「数学I・数学A」、数学②は「数学II・数学B」(映像学部は「情報関係基礎」、経営学部は「簿記・会計」を含む)の得点を使用します。使用できる科目および使用方法は、各学部・学科等の入試方式ごとに定められていますので、10~39ページで確認してください。主な使用方法は以下の通りです。

(1) 「数学I・数学A」および「数学II・数学B」…2科目の合計点を使用します。2科目とも受験している必要があります。

(2) 「数学I・数学A」「数学II・数学B」から高得点1科目…高得点の1科目のみ採用候補とします。そのうえで学部・学科等の入試方式において定められた科目数だけ、他の教科の採用候補も含めた高得点科目から自動的に採用します。

(3) 「数学I・数学A」「数学II・数学B」…いずれの科目も採用候補とします。そのうえで学部・学科等の入試方式において定められた科目数だけ、他の教科の採用候補も含めた高得点科目から自動的に採用します。

■ 地理歴史・公民

センター試験の「地理歴史・公民」は、1科目または2科目を選択して受験できます。使用できる科目および使用方法については、各学部・学科等の入試方式ごとに定められていますので、10~39ページで確認してください。

■ 理科

センター試験の「理科」は、以下の通り理科①と理科②の2つの試験時間帯に分けて実施されます。

理科①：「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」

理科②：「物理」「化学」「生物」「地学」

理科①および理科②については、以下の選択方法をセンター試験出願時に申し出ることになっています。

A：理科①から2科目

B：理科②から1科目

C：理科①から2科目および理科②から1科目

D：理科②から2科目

本学の入学試験では、理科①の『「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」から2科目』を1科目と見なし、法学部、産業社会学部、国際関係学部、文学部、映像学部、経営学部、政策科学部、総合心理学部、経済学部、スポーツ健康科学部、食マネジメント学部で使用できます。理科②は、使用できる科目が学部・学科等によって異なります。使用できる科目および使用方法は、各学部・学科等の入試方式ごとに定められていますので、10~39ページで確認してください。

英語外部資格試験スコア等保持者への「外国語」の特例措置

以下のいずれかのスコア等を証明する書類を出願時に提出した場合は、大学入試センター試験における「外国語」の「英語」を満点に換算し、合否判定を行います(ただし、法学部は除く)。

*大学入試センター試験「外国語」の「英語」の受験は必要です。

① 実用英語技能検定 : 準1級以上(受験時期は問わない)

② TOEFL iBT®テスト : 72点以上(2016年4月1日以降に受験したもの)

③ IELTS(Academic Module) : Overall Band Score 5.5以上(2016年4月1日以降に受験したもの)

④ GTEC CBT : 1250点以上(2016年4月1日以降に受験したもの)

⑤ TEAP(4技能) : 334点以上(2016年4月1日以降に受験したもの)

出願書類については45ページで確認してください。

【出願方法】(詳細は46ページを参照)

インターネット出願画面の「英語外部資格試験スコア等保持者への『外国語』の特例措置」の項目で必要事項を入力してください。

そして、英語外部資格試験の合格証明書・スコア等(コピー)を郵送してください。インターネット出願画面にて、当該出願書類の活用希望のための項目を選択すれば、英語外部資格試験の合格証明書やスコア等は初回出願時のみの提出で構いません(活用を希望する旨の入力がない場合は、書類送付が必要です)。

インターネット出願での上記の入力を完了しても合格証明書・スコア等(コピー)の送付がない場合は、特例措置の対象となりません。